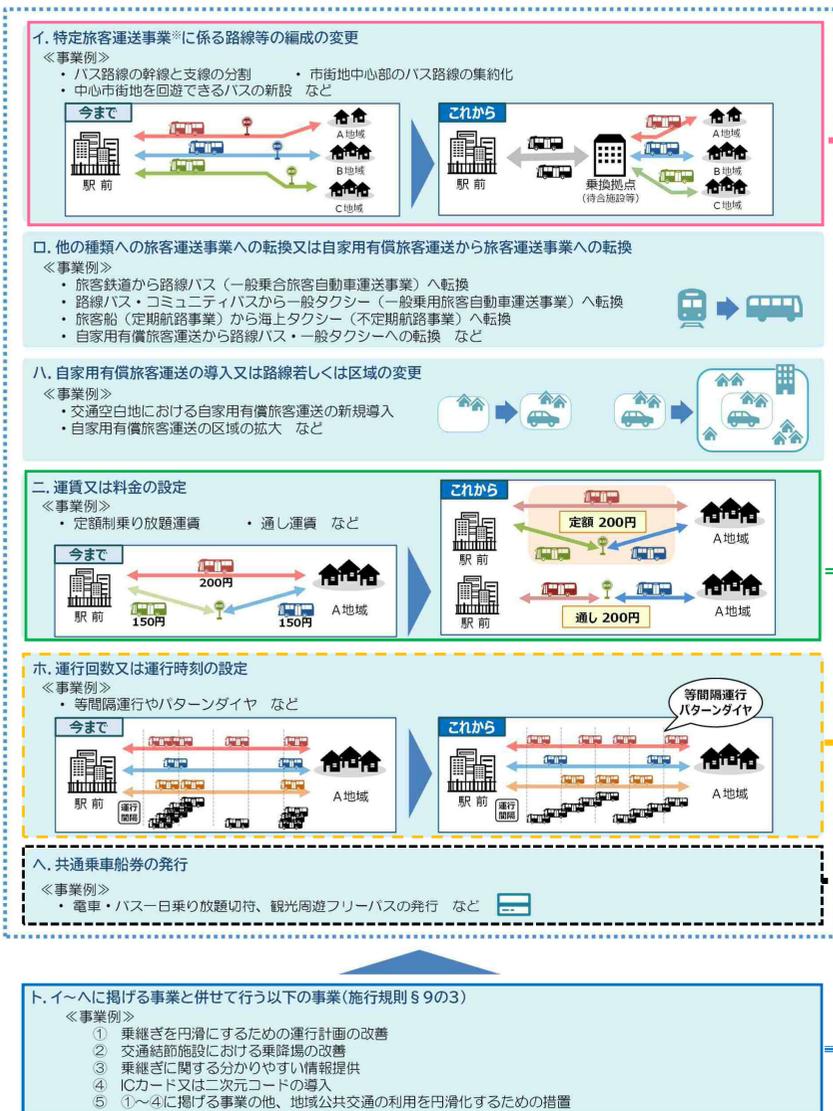


令和4年度 沼津市地域公共交通計画 推進スケジュール

種別	令和4年度												備考
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
地域公共交通協議会			【第1回】 ・退出路線協議 ・R5フィーダー補助審議 ・運行状況把握						【第2回】 ・利便増進報告 (共同経営計画に係る意見聴取)		【第3回】 ・退出路線等協議 ・自主運行等協議 ・幹線事業評価		
交通まちづくり検討部会	【第1回】 ・R4事業内容確認 ・利便増進計画					【第2回】 ・R5実施事業検討				【第3回】 ・利便増進計画			
利便増進実施計画			個別協議	個別協議	個別協議	個別協議	計画案作成	個別協議			計画策定 国申請	(認定)	4/1運行開始
I-①	路線の集約・再編 人口集積地への路線新設												
II-①	住民協議会支援(大岡)	協議		(協議会 審議)	(運行準備)		(本格運行)						
II-①	住民協議会支援(戸田)		戸田自治会 協議										
II-②	自主運行等検討	西浦線 戸田江梨線				次年度 運行計画素案	運行計画地元同意			運行計画承認			
II-③	タクシーの活用	事業内容検討				実施内容協議							
III-②	沼津駅バスターミナル発 ダイヤ調整												
III-③⑨	バス停環境改善 (サイクル&バスライド) (危険バス停改善) (バス停表示の統一)	関係者協議											
III-⑩	バスターミナルの環境改善 (原駅)		国庫補助交付決定	工事発注								完成	
IV-①	おでかけマップ作成					発注	入札 契約						完了 配布
IV-②	企画乗車券等の検討												
IV-③	モビリティマネジメント パンフレット作成		プロボ発注	契約			納品						
IV-③	バスイベントの開催 (小学生MM)					出前講座							
V-①	新たなモビリティツールの 活用					電動キックボード 実証実験	効果検証						
V-②	新技術の検証 (自動運転)		県との調整			協議・準備	PR	実証運行					
V-③	沼津港バス乗り場の集約		関係者協議			バス停統一							
V-④	デジタルサイネージ設置 (沼津港)		国庫補助交付決定	備品等発注		設置完了							
V-⑤	路線バス利用者の確保	交付決定	仕様協議・契約	車番認証 カメラ設置								分析まとめ	
新型コロナウイルス対策 公共交通支援事業													

1-7 地域公共交通計画と利便増進実施計画の関連について

本計画において定める利便増進事業は、公共交通の活性化及び再生に関する法律第二十七條の十六「地域公共交通利便増進事業の実施」において、以下の事業が位置付けられています。また、利便増進事業以外にも、「利便増進事業に関連して実施する事業」を位置付けることが出来ます。本計画での施策の事業区分を以下に整理します。



I. 公共交通軸形成プロジェクト			
実施事業	対象地域・路線	実施年度	詳細
路線の集約・再編	・都市的居住圏内	R 5	
人口集積地への路線の新設	・都市的居住圏内 ・交通不便地域	R 4 R 7	P22
公共交通軸における運行頻度の確保	・都市的居住圏内	R 5	
II. 公共交通セーフティネット構築プロジェクト			
実施事業	対象地域・路線	実施年度	詳細
自主運行バス等の路線再編・集約と運行維持に係るルールづくり	・西部地区 （ミューバス片浜駅・原駅、柳沢線、原団地線） ・南部地区 （西浦・伊豆長岡駅方面）	R 4 R 5	P24
多様なニーズに対応したタクシーの活用	・交通不便地域	R 4 R 7	P22
III. わかりにくさ使いにくさ解消プロジェクト			
実施事業	対象地域・路線	実施年度	詳細
バスターミナル発着のダイヤ調整	・沼津駅を発着する路線	順次	
運行情報のデータ化と活用	・市内全路線	順次	
デジタルサイネージの設置	・交通結節点	順次	
利用しやすい運賃体系への見直し	共通定期券 乗継割引	・複数の事業者が重複する路線 R 5 R 4	P29
バス停の環境改善（駐輪場設置、コンビニ等との連携、バリアレス緑石活用等）	・市内全路線	順次	
バスターミナルの環境改善	・交通結節点	順次	
IV. 楽しいおでかけ創出プロジェクト			
実施事業	対象地域・路線	実施年度	詳細
路線図・時刻表の作成	・市内全路線	R 4	P30
企画乗車券・フリーパス・高齢者バスの販売	・運行距離が長大な路線	R 5	
V. 沼津駅ー沼津港連携プロジェクト			
実施事業	対象地域・路線	実施年度	詳細
デジタルサイネージの設置（沼津港）	・沼津港	R 4	P30
沼津駅ー沼津港間の路線バス利用者の確保	・沼津駅ー沼津港間	R 5	

### III-10 バスターミナルの環境改善（原駅）

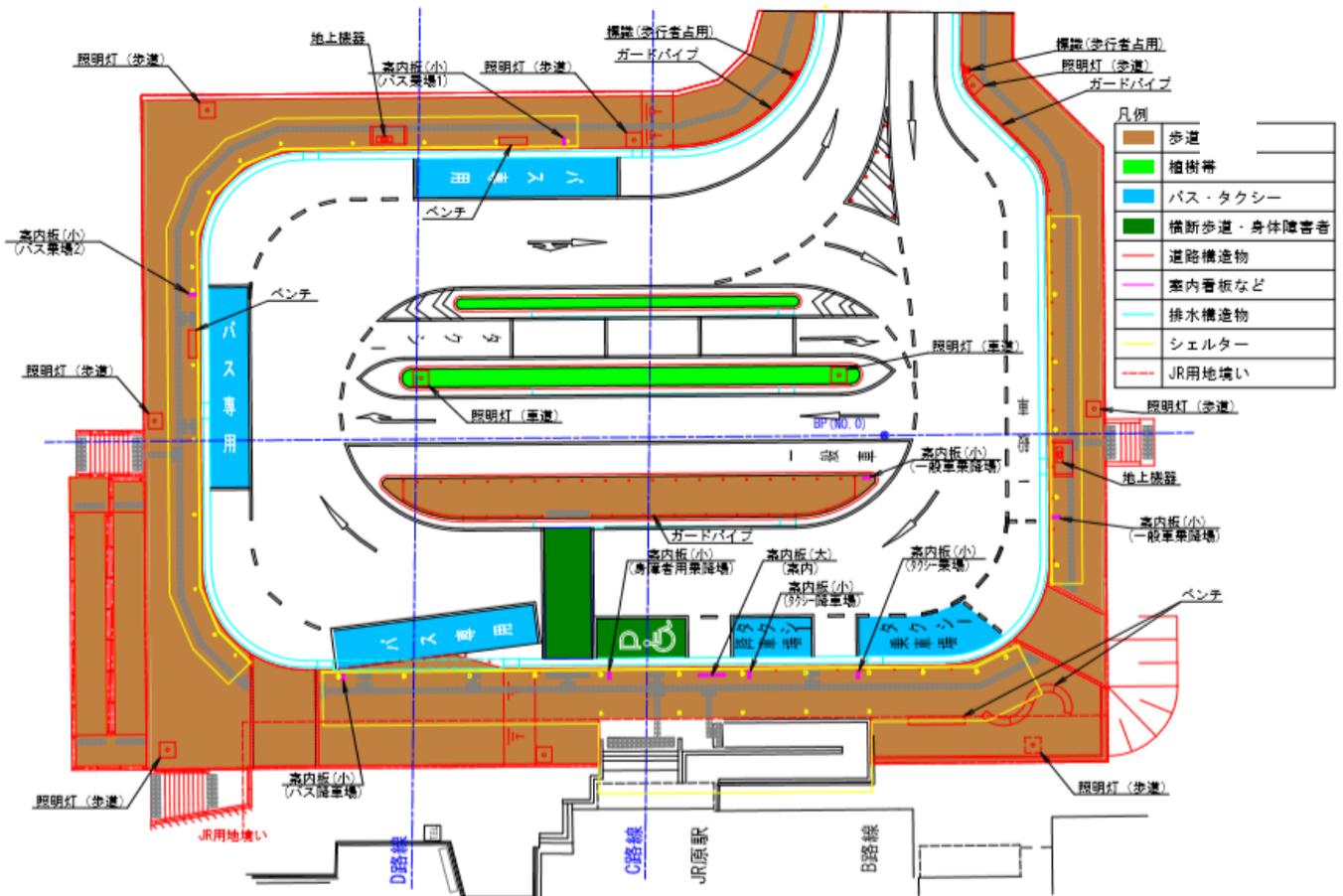
- ・令和4年度にターミナル整備が完了することに伴い、バス乗り場やタクシー降車場などの標識を設置。
- ・バス降車場は1バース、バス乗り場は2バース、タクシー降車、乗車各1を設置し、案内標識、ベンチ（乗り場のみ）を設置。

駅舎の木製格子と調和のとれ色彩が統一されたデザインと考えられる。



①案内板(大)  
UC-S020001  
支柱：アルミ押出形材 着色アルマイト(ブラック)  
表示基板：11.5 アルミ板 素地  
木格子：杉材 AZNA加圧注入防腐処理 Biosas(チーク色)  
裏パネル：11.5 アルミ板 合成樹脂塗装(ブラック)  
表示方法：CAPPAフット(前面)  
※表示方法・表示内容は別途打合せの上決定とします

②案内板(小)  
UC-S020003  
支柱：アルミ押出形材 着色アルマイト(ブラック)  
表示基板：11.5 アルミ板 素地  
木格子：杉材 AZNA加圧注入防腐処理 Biosas(チーク色)  
裏パネル：11.5 アルミ板 合成樹脂塗装(ブラック)  
表示方法：CAPPAフット(前面)  
※表示方法・表示内容は別途打合せの上決定とします



## IV-③モビリティマネジメントパンフレット作成、バスイベントの開催（小学生MM）

### 1. モビリティ・マネジメントについて

渋滞や環境、あるいは個人の健康等の問題に配慮して、過度に自動車に頼る状態から公共交通や自転車などを賢く使う方向へと自発的に転換すること促す、一般の人々や様々な組織・地域を対象としたコミュニケーションを中心とした持続的な一連の取組。

### 2. 現在の MM 関連講座

まちづくり政策課：出前講座「54 バスに乗ろう！」

- ・バスの乗り方、時刻表の見方、バスを利用するメリットについて
- ・市からの講義は、紙芝居形式でバスのメリットのについて説明。  
(資料やパンフレットの配布はなし)
- ・バス車両を用いた実車利用講座は、バス事業者協力のもと実施（120分）  
(乗り方説明、実車体験、整備工場見学等。バス事業者営業所での実施と学校にバス車両持込みでの実施の両方に対応可。)

生活安心課：「沼津市交通安全父母の会」を通じ、市内幼稚園・保育園の園児等に向けたバスの乗り方教室をバス事業者協力のもと実施。

### 3. 出前講座開催実績

- ・別紙のとおり



### 4. 費用について

- ・出前講座としての無料実施。
- ・バス事業者へは、毎年「沼津バス協会」宛に負担金 10 万円を支出。  
(乗り方教室や啓発活動等に係る費用に充てるものとしている)

### 5. 今後について

- ・小学校による講座実施の増加
- ・まちづくり政策課として、令和4年度に「MM用パンフレット」等啓発資料を作成。



<教材イメージ>



<小学生体験講座>

出前講座開催実績表（平成30年～）

平成30年度

	開催日	対象	主催者	講座名	場所	人数	事業者	市（講師）
1	5月29日	幼児	耕雲寺幼稚園	54 バスに乗ろう！	耕雲寺幼稚園	30	伊豆箱根バス	佐野
2	11月1日	一般	沼駿地区退職者連盟	55 沼津市の公共交通について	沼津労政会館	50	—	佐野
						80		

令和元年度

	開催日	対象	主催者	講座名	場所	人数	事業者	市（講師）
1	8月7日	児童	第五小学校放課後児童クラブB	54 バスに乗ろう！	伊豆箱根バス三島営業所	30	伊豆箱根バス	江藤
2	12月26日	児童	第五小学校放課後児童クラブA	54 バスに乗ろう！	伊豆箱根バス三島営業所	23	伊豆箱根バス	江藤
						53		

令和2年度

	開催日	対象	主催者	講座名	場所	人数	事業者	市（講師）
1	11月5日,6日,9日	児童	香貫小学校（2年部）	54 バスに乗ろう！	東海バス沼津営業所	73	東海バス	遠藤、武村、伊藤
2	11月18日	児童	第一小学校（2年部）	54 バスに乗ろう！	第一小学校	55	富士急シティバス	武村、山田
						128		

令和3年度

	開催日	対象	主催者	講座名	場所	人数	事業者	市（講師）
1	9月22日	児童	開北小学校（2年部）	54 バスに乗ろう！	開北小学校	49	富士急シティバス	伊藤
2	10月19日,21日	児童	香貫小学校（2年部）	54 バスに乗ろう！	東海バス沼津営業所	54	東海バス	伊藤、望月
3	10月29日	児童	静浦小中一貫学校（2年部）	54 バスに乗ろう！	静浦小中一貫学校	22	東海バス	伊藤
4	11月2日,5日,9日,10日	児童	門池小学校（2年部）	54 バスに乗ろう！	富士急シティバス本社営業所	133	富士急シティバス	武村、伊藤、望月
5	11月9日	児童	第一小学校（2年部）	54 バスに乗ろう！	第一小学校	36	東海バス	伊藤
6	11月16日	児童	今沢小学校（2年部）	54 バスに乗ろう！	富士急シティバス本社営業所	51	富士急シティバス	山田
7	11月19日	児童	第五小学校（2年部）	54 バスに乗ろう！	富士急シティバス本社営業所	70	富士急シティバス	伊藤
8	11月26日	児童	第三小学校（2年部）	54 バスに乗ろう！	東海バス沼津営業所	36	東海バス	伊藤
						451		

## V-①新たなモビリティツールの活用

### ◎電動キックボードを活用した社会実験の実施

- ・本市では、コンパクト・プラス・ネットワーク型のまちづくりを推進しており、目的に応じて多様な移動手段を選択できる環境を整備し、誰もが市内を快適に移動できる公共交通ネットワークの構築に取り組み、過度に自動車に依存しないまちづくりを推進しています。その一環として、「Go Slow Town to Port」と題し、沼津駅南口から沼津港入口間で、電動キックボードのシェアサービスを提供する社会実験を実施します。

### ◎目的

- ・中心市街地と沼津港間における多様な交通手段の確保により、さらなる回遊ネットワークの充実を図ります。
- ・利用者の属性に加え、車体に内蔵されてGPS機能を活用した走行データなどを基に、回遊性向上への寄与や他の交通機関との接続性などを検証します。
- ・シェアサービスの運営やポートの管理などを通じた事業採算性について検証し、実験終了後の社会実装の可能性の可否についても、地域の事業者とともに検討を進めます。



ちよつとの移動を助ける  
電動キックボード

**ema** →  
Powered by 株式会社EXx

### ◎使用モビリティツール

- ・バッテリー駆動の電動キックボードです。手元のアクセルとブレーキを操作し、利用します。国（経済産業省）の特例制度の下、ヘルメット着用任意等の公道での実証実験です。車両区分は「小型特殊自動車」となります。

### ◎利用料金

- ・通常利用プラン  
最初の10分100円、以降1分ごと15円  
※1時間850円、1.5時間1,300円、3時間2,550円
- ・長時間利用プラン  
1.5時間1,000円、3時間2,000円

### ◎ポート設置箇所

- ①沼津駅南口（ラクーン前）3台・6ポート
- ②沼津駅南口（三交イン前）2台・4ポート
- ③中心市街地（三菱UFJ銀行沼津支店）2台・3ポート
- ④中心市街地（静岡銀行沼津支店）2台・4ポート
- ⑤中心市街地（沼津市役所）2台・4ポート
- ⑥沼津港入口（港八十三番地第2駐車場）2台・4ポート
- ⑦沼津港入口（スルガ銀行沼津港支店）2台・4ポート



V-③沼津港バス乗り場の集約、V-④デジタルサイネージ設置（沼津港）

沼津港バス乗り場の集約、沼津港路線バス出発案内デジタルサイネージ設置

- ・現在、バス事業者2社（東海バス・伊豆箱根バス）の乗り場は離れて設置されており、時刻表を確認するため、バス停間を行き来する必要がありました。このため、バス乗り場を集約するとともに、路線バスの出発時刻を案内するデジタルサイネージを設置し、利用者の利便性を高めます。
- ・屋内用ディスプレイのデジタルサイネージを1台設置します。
- ・サイネージに表示する運行データ（※G T F Sデータ）整備は、バス事業者が行い、サイネージの管理等を沼津市が実施します。※G T F Sデータとは、各バス会社が保有するバス運行情報データについて、国土交通省が示す標準的なバス情報フォーマットにより整備したデータです。



現在、バス事業者2社（東海バス・伊豆箱根バス）の沼津港バス乗り場は離れて設置してあるため、時刻表を確認する際、2つのバス停間を行き来する必要があります。

デジタルサイネージ設置イメージ



デジタルサイネージイメージ



デジタルサイネージ画面イメージ

## V-⑤ 路線バス利用者の確保

### ◎円滑な交通体系構築に向けた車番認証実証実験の実施

- ・沼津港は自家用車による来訪が多く交通渋滞が発生しており、公共交通への転換を見据え、現状を把握する。
- ・車番認証システムを活用して、来訪地域・滞在時間・混雑具合を把握する。
- ・7月～年明けの1月まで（予定）カメラ設置による実証実験を実施し、車両の出入りに関するデータを取得・分析。

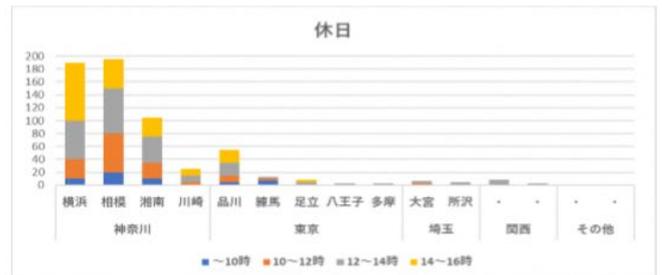
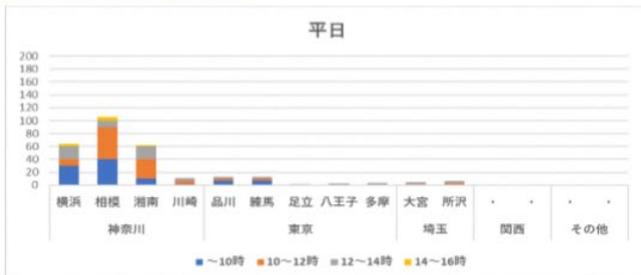


カメラ撮影画面

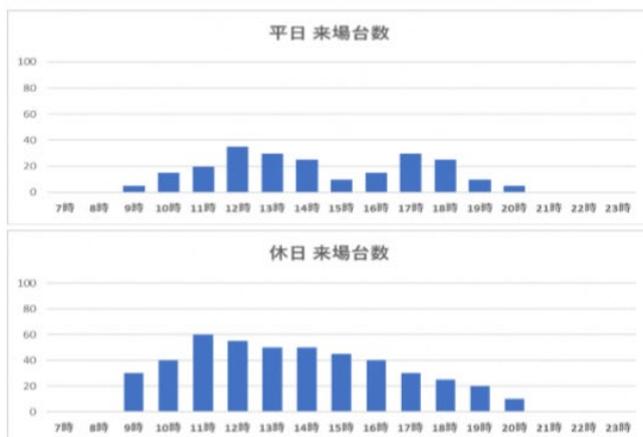
## 車番認証システム 取得分析データ例

### 取得データ： 車番データ、通過時刻データ

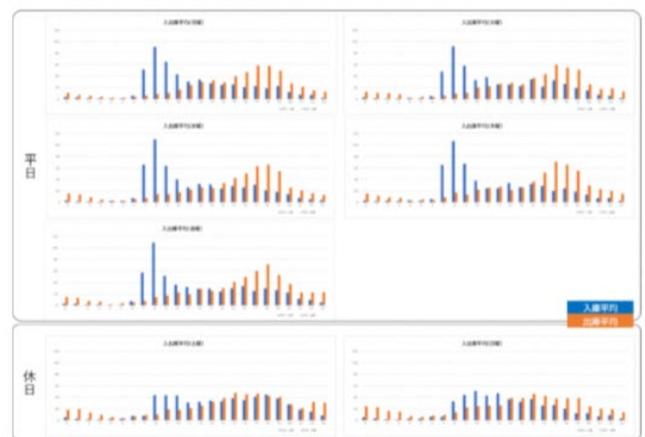
#### 1. 来場者地域別



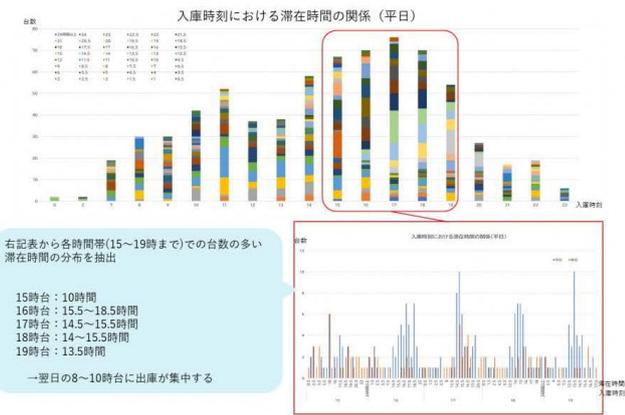
#### 2. 入庫：時間帯別、地域別の来場タイミング



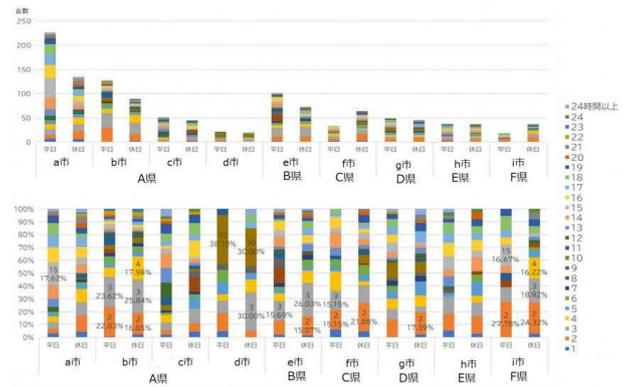
#### 3. 入庫：曜日別、来場タイミング



### 3. 入庫時刻における滞在時間の関係



### 4. 地域別の滞在時間の分析



【カメラ設置箇所】 車番認証カメラ取付予定ポール (進入・退出の両方の車両を捉えるカメラを設置)



ポールからエリア進入車両を望むアングル



ポールからエリア退出車両を望むアングル



## 新型コロナウイルス対策公共交通支援事業について

### 1. これまでの利用促進策について

本市では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け利用者が減少し経営状況が悪化している公共交通事業者に対し、主に地方創生臨時交付金を活用し、下記のとおり補助事業を実施しました。

① 高齢者バス・タクシー利用促進事業（1回目）			
市内在住の65歳以上の高齢者に1人につき3,000円のバス・タクシー共通利用券を配布し、利用実績額を交通事業者に交付			
実施時期	令和2年12月～令和3年2月	事業費（利用券のみ）	101,299,900円
配布数	183,192,000円 (3,000円×61,064人)	配布数に対する 利用率	55.3%

② 高齢者バス・タクシー利用促進事業（2回目）			
コロナウイルスワクチン接種にあわせ、市内在住の65歳以上の高齢者に1人につき3,000円のバス・タクシー共通利用券を配布し、利用実績額を交通事業者に交付			
実施時期	令和3年4～9月	事業費（利用券のみ）	127,452,800円
配布数	191,316,000円 (3,000円×63,772人)	配布数に対する 利用率	66.6%

### 2. 本年度のバス・タクシー利用促進事業について

これまで2度、高齢者へバス・タクシー共通利用券の配布を行いました。さらに多くの市民を対象として公共交通の利用を促進するため、市内の全世帯への配布を行いました。

③ バス・タクシー利用促進事業（3回目）			
市内の全世帯を対象に1世帯につき3,000円のバス・タクシー共通利用券を配布し、利用実績額を交通事業者に交付			
実施時期	令和4年2～9月	事業費（利用券のみ）	73,313,900円（4月時点）
配布数	278,202,000円 (3,000円×92,734人)	配布数に対する 利用率	26.4%（4月時点）
世帯別利用割合	高齢者世帯：56.2% 一般世帯：43.8%（4月時点）		
バス・タクシー別利用割合	バス：30.6% タクシー：69.4%（4月時点）		

